

グループワークで出た意見 (2012/11/22)

1. 文化ホールに必要な設備は。

- ・主舞台の広さ
- ・楽屋
- ・リハーサル室
- ・会議室
- ・ホワイエ(ロビー)
- ・その他、カフェ、通路壁面など

<1 班の意見>

優先順位については、

- ① 主舞台の広さ
- ② 楽屋
- ③ ホワイエ(ロビー)
- ④ リハーサル室
- ⑤ 会議室
- ⑥ その他、カフェ、通路壁面など

(報告書に対する意見等)

・第5章(P15～)

「施設計画」・・・プロポーザル方式で全国的にも注目するような優れた設計者を選定してください。また、舞台関係の専門家も含めファシリテーターワークショップによる施設づくりを進めてください。

・地域の文化活動の規模は多くて 300～350 人が適当。これは敷地面からの制約ではない。伊予市の将来の人口や広域的な条件、地域の活動状況、伊予市の財政や将来の維持管理費を踏まえた適正な規模であり、目標として稼働率 70%以上を目指すなど、多くの市民が参加できる文化施設を考えてはどうでしょうか。

・第3章文化ホールの目指す方向(P9・基本理念:「地域文化を守り育みつなげる交流拠点」)

地域文化と言う表現では範囲が狭く感じられます。芸術文化・伝統芸能・生活文化・メディア・アートなど、市民の多様な文化活動の場を目指すべきでしょう。それから「創造」の視点も必要ではないでしょうか。

特に「市民に開かれる」ということが大事で狭い施設内の利用にとどめない。「文化芸術振興基本法」

「劇場法」の理念を踏まえて、「新しい広場」づくり、市民参加のチャンネルを広げ、文化を通じた「交流・コミュニティの再生」を目指したらどうでしょうか。

「人とまちを育む交流・創造・市民に開かれた文化の広場」を基本理念にしてはどうでしょうか。

・自己の生涯学習(楽しみ)の場[公民館機能]と、芸術文化(創造・表現)の場[文化ホール諸室]を、うまくミックスさせ、兼用できる設備の部屋づくりをしてください。(例)ロッカー付き、壁面鏡、防音、水流し場、板張り、バレエバー、ピアノ設置、暗幕

・練習スタジオ(30㎡までの小スタジオ)

音響機器、鏡、ピアノ、ドラムセット、和太鼓設置など、譜面台、椅子、長机などが取れるなら 2～3 室。

・大練習室

使い方によってはパフォーマンスの会場にもなり得るような。

・グランドピアノ、照明設備、音響設備、舞台設備(平台、箱足、幕類)、鏡、椅子、長机、バレエバー、倉庫。

・搬入のためのトラックなどが横づけできる搬入口。

・ステージに近い楽屋、給湯室、トイレ。

・複合施設内にカフェレストラン。

グループのパーティ

館内のケータリングサービス

・まちなかの食堂や喫茶の案内。

・きこえることが大前提→ステージ・会場

・文化ホールの緞帳は伊予市にふさわしい模様にしてほしい。

・アート工房についても考えられたい(美術)。

・舞台と観客席を中心とした鑑賞だけのホールではなく、芸術文化から生活文化・伝統文化・国際交流まで「鑑賞・参加・交流・創造」の場であってほしいです。

・第5章(P16)

運営方法・・・直営か指定管理かだけでなく、やる気と能力のある人員体制とともに事業計画を含めた市民参加・協働を組み合わせた方式を検討すべきだと考えます。

グループワークで出た意見 (2012/11/22)

<2 班の意見>

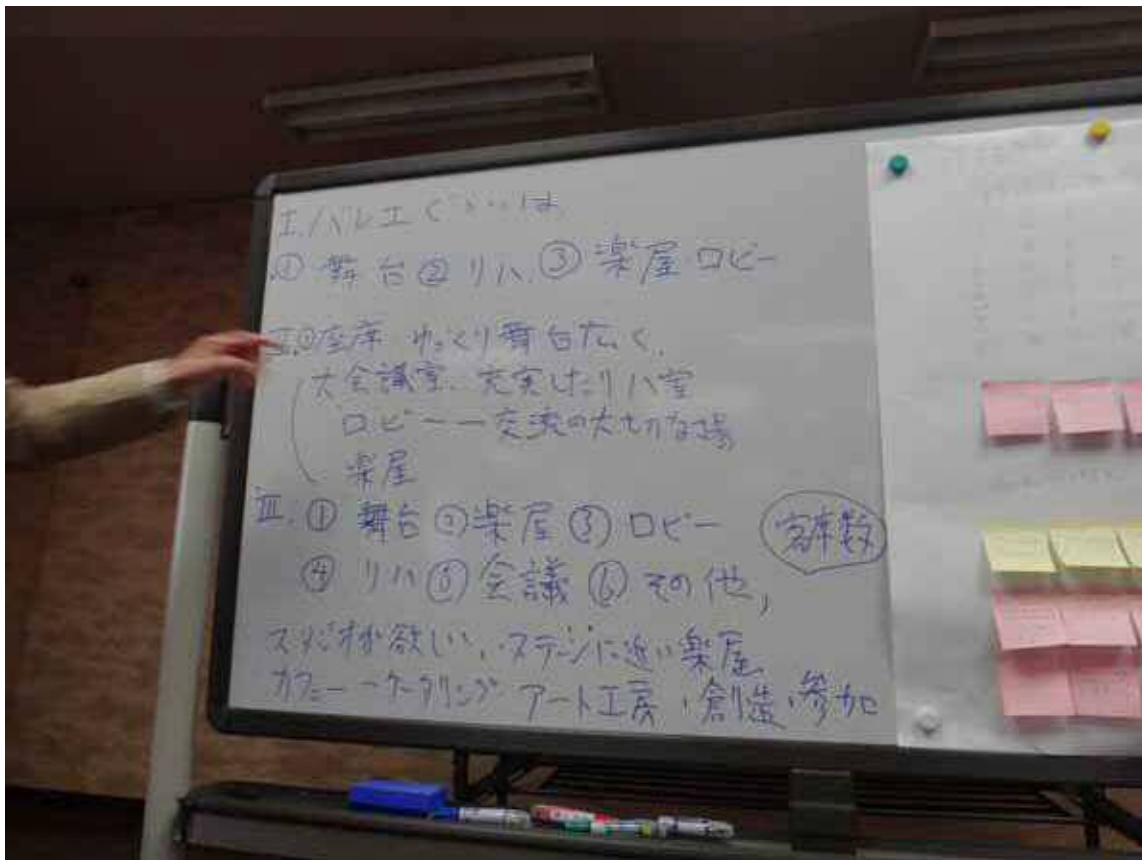
- ① 主舞台の広さ
 - ・バレエができるような主舞台の広さを確保してほしい。
- ② リハーサル室、楽屋
 - ・リハーサル室を会議室や小ホールとしての利用も行いたい。
 - ・楽屋も小会議室としても利用できるように。
- ③ ホワイエ(ロビー)
 - ・緊急時のことも考えて、ある程度ゆったりとした広さを確保したい。

その他(順位が低いもの)

- ・会議室はその他の諸室で兼用できれば良い。それだけの機能は必要ないのではないか。

<3 班の意見>

- 座席をゆったりと、舞台を広く
- ・舞台:まずは、観る側より演じる側に重点を置いて設計するのが望ましい。良い演技が可能になるようにする。
 - ・ホワイエ(ロビー):観客は必ずしも目の肥えた人ばかりではなく、興味半分で来る人もあり、ロビー部分を広くしてふれあう場をつくるのが望ましい。
 - ・文化ホールの基本づくり:ホールで行われるものの例・・・演奏-(音楽、クラシック、ロック)、演技-(バレエ、オペラ、歌舞伎)
の種類によるホール構造をどう捉えるか。
 - ・大会議室など:100人以上が入れる室に
 - ・リハーサル室:充実させたい
 - ・舞台:舞台と客席の一体感が身近に感じる距離
 - ・楽屋:近い位置、壁面鏡、手洗い、化粧設備



グループワークで出た意見 (2012/11/22)

< 傍聴に来られている方々の意見 >

優先順位で1位のを列記

- ・舞台の広さ
- ・楽屋
- ・リハーサル室
- ・座席は可動式にして300~400席、花道もほしい。
- ・舞台の広さ
- ・舞台の広さ
- ・舞台の広さ
- ・舞台の広さ
- ・舞台の広さ
- ・リハーサル室の他に各種楽器等の専用スタジオ
- ・周辺緑地の最大限確保
- ・必要な設備

舞台設備: プログラムスタンド、指揮台、譜面台、座布団、演台、司会者台、ホワイトボード、音楽反射板、落語舞台、金屏風、バレーマットなど。

音響設備: 拡声装置(マイク)CD, MD, DVD, レコーダー、カセットテープレコーダー、グランドピアノ、プロジェクター、映写機、スクリーンなど。

照明設備: ボーダーライト、サスペンションライト、アッパーホリゾンライト、ローアホリゾンライト、シーリングライト、フォローピンスポットライトなど。

(意見)

- ・中央公民館の多目的ホールの体育施設の利用は、バレーボールチームが社会教育活動として使用している現状です。(204チーム、朝・昼・晩)
- ・元気な方は、他のスポーツ施設(しおさい、ウェルピアなど)を利用して行くことにして、このスペースにリハーサルスタジオを計画してはどうか。
- ・「施設計画」についてはプロポーザル方式で全国的にも優れた設計者を選定してください。舞台関係の専門家も含めファシリテーターワークショップによる施設づくりを。
- ・「運営方法」については、やる気と能力のある人員体制とともに、事業計画を含めた市民参加・協働を組み合わせた方式を。

- ・「施設計画」とは別に、ソフト、運営について検討する委員会を早急に立ち上げて「準備室」としてスタートしてください。
- ・市民、文化団体、専門家、メセナ、行政、NPOなどの参加する運営体制をつくりましょう。民間・市民主導で。
- ・様々な活動が日常に自立管理によって365日24時間利用できるよう検討してほしい。
- ・文化ホール(施設)は日常の活動(練習)半分、発表の場(ホール)半分の割合が良いと思います。毎日、ホールが客席が埋まるようなイベントはあり得ない。公民館の諸室を練習けいこに共用できるように工夫すると良いのでは。
- ・お祭り広場的ホワイエの考えもあるので、図書館が手前に配置されると、まちとつながりにくいのが難点。
- ・中央公民館の体育館としての利用は、他の近隣施設に。そうすることで多目的ホールの利用形態に幅もできる。また、本日示されている多目的ホールの上部空間を有効活用できるのではないか。
- ・図書館との融合は、防音等のリスクがあり、それぞれの利点の相乗効果を生むためには工夫が欲しい。